



Sagami Women's University

後援会会報

September.2021 No.53



目次

後援会会長からのご挨拶、2021年度役員選出	1	大学だより	7
2021年度「教育懇談会」開催報告	2	学長挨拶／学科長・研究科長挨拶／新任教員紹介／相生祭延期のお知らせ／会員の住所変更について／就職状況報告／「就職懇談会オンライン」開催のお知らせ／2020年度進路決定状況／近況報告	
定期総会（書面審議）の開催報告、2020年度事業報告	3	秋学期学年暦、電話番号案内	16
2020年度収支決算書	4	入学者選抜日程	17
2021年度収支予算書、2021年度事業計画	5	後援会会則	18

後援会会長からのご挨拶

2021年度後援会会長 山室 哲也

後援会会長に就任して

5月に開催した定期総会において選出され、昨年度に引き続いて後援会会長に就任いたしました。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界規模の危機に直面したことで、後援会の活動も大きく見直す必要が生じ、前例のない取組を臨機応変に進めることとなりましたが、会員の皆様のご理解とご協力によりまして、学生への支援及び大学への後援を様々な形で実施出来たことに対し、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、今年度の後援会活動ですが、今もなお、世界規模で混迷する社会に不安を抱きながらも、未来に向かって努力する学生の皆さんに対して、私たちはより一層、「学生のために何をすべきか」を考え、行動していく必要があります。

そこで、2021年度の後援会活動では、予備費を活用した新型コロナウイルス感染症流行に伴う学生への支援として、大学の学生及び教職員を対象として実施される「ワクチンの職域接種」に係る独自負担（医師・看護師の手配、会場運営経費等）のうち、接種を希望する学生分のコストの一部を負担することといたしました。

また、昨年度に後援会支援により導入した「空気清浄機」を図書館等にも増設するとともに、換気が悪い教室にサーキュレーターを設置するなど、更なる新型コロナ対策を図つ

てまいります。

更に、昨年度から検討を開始し、今年度の総会で承認された「後援会事務運営委託」、「ホームページのリニューアルによる後援会活動の充実化」、「総会及び教育懇談会の開催方法見直し」など、アフターコロナを見据えた新たな後援会活動に係る総合的な取組を加速させたいと考えています。

私たちにあって、「未来」をつくる若者である相模女子大学の全ての学生が、制約の多い中でも経験を重ね、自らの進むべき道を見つけ出すための様々なチャレンジが出来るよう、心から安心できる「学び」の環境づくりを進めることが大切です。

これからも、学生を第一に考えた活動が展開できるように、会員の皆様とともに全力を尽くしたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



… 2021年度役員選出 …

会長：山室 哲也 副会長：金指 俊二、齋藤 啓子

常任理事(総務部・事業部担当)：永井 浩之 常任理事(会計部担当)：吾妻 ゆき

理事：藤田 恵、水田 君江、秋山 厚子、田崎 朋子、渡邊 知佳、小松 薫、石原 秀子、谷 喜久夫

監事：塚本 早苗、丸川 真一

役員の任期は、2021年度定期総会終了後から2022年度定期総会終了時まで。

2021年度「教育懇談会」開催報告

コロナ禍により、対面での行事が制限される中、後援会では、会員の皆様と大学の先生方が直接懇談できる機会を確保すべく、2021年度は、学科毎の懇談会及び教育個別面談については、十分な感染防止対策をとった上で、対面形式で開催し、大学の現況や夢をかなえるセンターの取り組みに関する報告については、オンライン(動画配信)で行うというハイブリッド形式で開催しました。

学科毎の懇談会及び教育個別面談

2021年6月12日(土)相模女子大学7号館にて開催し、142名の会員の皆様にご参加いただきました。

プログラム

13:15～ 学科毎の懇談会

学科毎の教室で、各学科におけるコロナ禍での授業支援等について、学科長が説明を行いました。

13:50～ 教育個別面談

個別面談ブースにおいて、主にクラス担任の先生と学習・就学状況等に関する面談を行いました。



学科毎の懇談会の様子

● 参加者の声

「懇談会では、保護者からの質問が多く、関心の高さを感じました。個人面談では、担任がとても話やすく、質問にも真摯に答えていただき安心しました。私立大学だからなのでしょう。この機会をつくっていただきありがとうございました。」

「大学の先生と直接話し出来る貴重な機会を設けて頂きありがとうございました。ただ、個別面談でマスクとアクリル板と他の方の話し声で先生のお話が非常に聞き取りにくかったのが、残念でなりません。感染症対策なので仕方ない事とは思いますが。」

「授業の今後の見通しのこと、本人の授業や課題の取組状況、履修科目登録のこと等々。娘は実家を離れひとり暮らしですので、リモートの多い今の状況下で、このように貴重な機会を設けていただき感謝いたします。感染対策も細やかに気を配っていただき、安心して参加することができました。心よりありがとうございました。」

教育懇談会オンライン

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育内容に関する報告を配信しました。

動画配信期間 ★延長しました★

2021年6月21日(月)12:00～10月20日(水)23:59

動画をまだご覧いただいていない会員の皆様、また、学生の皆様もこの機会にぜひご視聴ください。

動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「教育懇談会オンラインへ」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。

URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

後援会事務局 連絡先 042-747-9067

Mail:kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp

開室時間 10:00～18:00(月・水・金)

配信内容

- (1)「相模女子大学・相模女子大学短期大学部の現況について」
- (2)「本学のキャリア形成支援について～夢をかなえるセンターのプログラム～」
- (3) 学生報告 第1部
「夢をかなえるセンターのキャリア形成支援について」
- (4) 学生報告 第2部
「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」メンバーへのインタビュー



学生報告の撮影リハーサルの様子

定期総会（書面審議）の開催報告

例年6月に開催している定期総会につきまして、新型コロナウイルス感染拡大の終息の目途が立っていないことから、2021年度は書面審議という形で開催しました。会員の皆様には書面での議決にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

2021年度定期総会議決結果

2021年6月4日(金)事務局必着としてご提出いただきました書面表決書について、結果を以下のとおり報告いたします。

各議案における表決結果

全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

議案	賛成	反対
(1) 2020年度 事業報告の件	921	2
(2) 2020年度 収支決算報告及び監査報告の件	920	3
(3) 後援会会則の一部改正(案)の件	921	2
(4) 2021年度 役員選出(案)の件	921	2
(5) 2021年度 事業計画(案)の件	921	2
(6) 2021年度 収支予算(案)の件	919	4
(7) 2021年度 後援会会議・行事日程(案)の件	921	2

ご意見等について

多くの皆様よりご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。大学・短期大学部に対するご意見等につきましては、大学・短期大学部に報告いたしました。後援会の事業・予算に対するご意見等につきましては、今後の運営に活かして参りたいと存じますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2020年度事業報告

会議等の開催 定期総会

2020年6月13日(土)に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。そのため、常任理事会(書面審議:2020年8月13日承認)及び理事会(2020年9月20日承認)で承認された議案について、2020年10月に刊行した後援会会報51号での報告をもって、総会での決議として扱った。

役員会等

- 2019年度会計監査 2020年5月22日(金)
マーガレット本館会議室1
- 2019年度常任理事会 2020年6月15日(月)～8月13日(木)
書面形式にて開催
- 2019年度理事会 2020年8月15日(土)～9月20日(日)
書面形式にて開催
- 2020年度常任理事会 2020年9月26日(土)
マーガレットホール4階ガーデンホール
9時30分～10時28分
- 2020年度理事会 2020年9月26日(土)
マーガレットホール4階ガーデンホール
10時35分～12時25分
- 2020年度常任理事会 2021年3月20日(土)～3月24日(水)
書面形式にて開催
- 2020年度理事会 2021年3月25日(木)～3月31日(水)
書面形式にて開催

就職に関する懇談会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面形式での開催を中止し、オンラインにて開催した。
動画配信期間:
2020年12月7日(月)12:00～2021年1月11日(月)23:59

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。
電子書籍125点の購入及び、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を附属図書館に導入した。

- 学生の福利厚生 of 充実を図る。
36件のクラス会の経費の一部を助成した。
卒業生記念品として、校章入りの袱紗を贈った。
新型コロナウイルスの影響で中止となった卒業記念パーティに代わり、卒業生全員に紅茶の詰合せを贈った。
- 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
1団体のクラブに対し、必要な用品の購入経費の一部を助成した。
- 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
課外活動の分野で顕著な活躍をした個人3名と団体4件が課外活動奨励賞を受けたことに対して、後援会より副賞を授与した。
- 学生の就職活動を支援する。
就職に関する各種講座やイベント(Zoomを活用した就職セミナー、SPI模擬試験・試験解説講座、保護者版就職ガイドブック等)の経費の一部を助成した。

地域連携助成費

新型コロナウイルスの影響により、連携している地域への訪問ができなかったため、未執行となった。

刊行物について

2020年10月に会報51号、2021年3月に会報52号を刊行し、会員及び関係者に配付した。

災害対策助成について

2年分(2019年度、2020年度)の非常用防災セットを2000セット購入したのに加え、非常用防災セットを保管するための防災コンテナを2基購入し、設置した。

弔慰

会員のご不幸は大学11名。会則に則り弔意を表した。

その他

予備費(新型コロナ対策支援経費)より、空気清浄機を20台購入し、カフェテリア・3号館ラウンジ等に設置した。

2020年度収支決算書

2020年4月1日から
2021年3月31日まで

収入決算額 50,764,994円
支出決算額 32,628,633円
18,136,361円 (次年度へ繰越)

事務費

主に役員会、総会、各種懇談会等の運営費用となります。事務費の多くは配付資料の印刷費、会議の案内や会報を発送する際の通信費に充てられています。

就職対策 助成費

学生の就職活動を支援するため、各種講座・試験の受講費補助や、講師謝礼、就職関連図書の購入等を行っています。

教育懇談会経費・ 就職懇談会経費

各種懇談会を後援会が主催し、保証人の皆様に大学・短期大学部の現況をお伝えする機会を設けています。2020年度はコロナ禍により、教育懇談会は中止、就職懇談会はオンラインで開催しました。

給付奨学費

経済的理由により修学が困難な学生に対する奨学金ですが、国や大学の支援制度が充実化したことにより、2020年度は、試行的に支給しないこととしました。

災害対策助成費

2019年度・2020年度の2年分の非常用防災セットを購入しました。また、防災セットを保管するための防災コンテナ2基を購入し、学内に設置しました。

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.会費	39,100,000	38,480,000	620,000
2.寄附金	0	0	0
3.雑収入	30	95	△65
4.前年度繰越金	12,284,899	12,284,899	0
合 計	51,384,929	50,764,994	619,935

※本年度会費 大 学 3,609名×10,000円＝ 36,090,000円
短期大学部 239名×10,000円＝ 2,390,000円

【支出の部】

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(△)(A-B)
▶1.事務費	2,601,000	2,006,618	594,382
①印刷製本費	570,000	233,552	336,448
②消耗品費	30,000	12,050	17,950
③通信費	1,451,000	1,382,956	68,044
④弔慰費	300,000	354,000	△54,000
⑤旅費交通費	150,000	15,060	134,940
⑥渉外費	20,000	0	20,000
⑦雑費	10,000	0	10,000
⑧業務費	70,000	9,000	61,000
2.事業費	27,005,000	20,725,521	6,279,479
①学生関係費	21,521,000	15,863,729	5,657,271
①課外活動助成費	2,700,000	375,126	2,324,874
②福利厚生助成費	6,324,000	3,721,679	2,602,321
③学生指導助成費	10,000	0	10,000
▶④就職対策助成費	12,487,000	11,766,924	720,076
(2)行事費	1,300,000	1,110,740	189,260
①大学祭等助成費	0	0	0
②卒業記念パーティ助成費	1,300,000	1,110,740	189,260
(3)文化費	4,184,000	3,751,052	432,948
①会報発行費	1,064,000	1,145,100	△81,100
②講演会等経費	20,000	0	20,000
▶③教育懇談会経費	0	0	0
▶④就職懇談会経費	400,000	391,000	9,000
⑤図書購入助成費	2,700,000	2,214,952	485,048
3.会議費	110,000	24,216	85,784
(1)総会費	0	0	0
(2)役員会費	100,000	24,000	76,000
(3)部会費	10,000	216	9,784
▶4.給付奨学費	0	0	0
▶5.災害対策助成費	6,000,000	5,196,510	803,490
6.地域連携助成費	5,000,000	0	5,000,000
7.国際教育助成費	1,000,000	0	1,000,000
8.予備費	9,668,929	4,675,768	4,993,161
合 計	51,384,929	32,628,633	18,756,296

監査報告書

私たちは、2020年度後援会収支決算書を監査の結果、その適正であることを認めます。

監 事 吾妻 ゆき ㊞

監 事 丸川 真一 ㊞

監査実施日 2021年4月24日

通信費の内訳

役員会等の通知
(17,916円)
総会・教育懇談会案内
(294,399円)
就職懇談会案内
(424,070円)
会報送料
(646,571円)

課外活動 助成費の内訳

サークル活動補助
(111,760円)
課外活動奨励賞
(263,366円)

福利厚生 助成費の内訳

クラス会補助
(589,209円)
卒業生記念品
(3,132,470円)

卒業記念 パーティー助成費

新型コロナウイルスの影響により卒業パーティが中止となった為、卒業生全員に紅茶の詰合せを配付しました。

地域連携助成費・ 国際教育助成費

コロナ禍により、地域への訪問が出来ず、キャンパス留学が開催できなかったため、予算額全てが残金となりました。

予備費

新型コロナ対策支援経費と位置づけ、カフェテリアや3号館等、学生が飲食する場所に空気清浄機20台を設置しました。



2021年度収支予算書

2021年4月1日から
2022年3月31日まで収入予算額 58,286,456円
支出予算額 58,286,456円

【収入の部】 (単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.会 費	40,150,000	39,100,000	1,050,000
2.寄 附 金	0	0	0
3.雑 収 入	95	30	65
4.前年度繰越金	18,136,361	12,284,899	5,851,462
合 計	58,286,456	51,384,929	6,901,527

※本年度会費 大学・短大 4,015名×10,000円 = 40,150,000円
【内訳】 大学 3,794名、短大 221名 (2021年4月1日時点)

【支出の部】

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.事 務 費	7,212,008	2,601,000	4,611,008
(1) 印刷製本費	430,000	570,000	△ 140,000
(2) 消耗品費	30,000	30,000	0
(3) 通信費	2,832,008	1,451,000	1,381,008
(4) 弔慰費	400,000	300,000	100,000
(5) 旅費交通費	150,000	150,000	0
(6) 渉外費	20,000	20,000	0
(7) 雑費	10,000	10,000	0
(8) 業務費	70,000	70,000	0
(9) 業務委託費	3,270,000	0	3,270,000
2.事業費	31,490,417	27,005,000	4,485,417
(1) 学生関係費	24,873,553	21,521,000	3,352,553
① 課外活動助成費	2,750,000	2,700,000	50,000
② 福利厚生助成費	6,680,000	6,324,000	356,000
③ 学生指導助成費	10,000	10,000	0
④ 就職対策助成費	15,433,553	12,487,000	2,946,553
(2) 行事費	2,100,000	1,300,000	800,000
① 大学祭等助成費	800,000	0	800,000
② 卒業記念パーティ助成費	1,300,000	1,300,000	0
(3) 文化費	4,516,864	4,184,000	332,864
① 会報発行費	1,182,000	1,064,000	118,000
② 講演会等経費	20,000	20,000	0
③ 教育懇談会経費	820,000	0	820,000
④ 就職懇談会経費	880,000	400,000	480,000
⑤ 図書購入助成費	1,614,864	2,700,000	△ 1,085,136
3.会議費	210,000	110,000	100,000
(1) 総会費	0	0	0
(2) 役員会費	200,000	100,000	100,000
(3) 部会費	10,000	10,000	0
4.学習支援助成費	4,100,000	0	4,100,000
5.災害対策助成費	1,738,000	6,000,000	△ 4,262,000
6.地域連携助成費	5,000,000	5,000,000	0
7.国際教育助成費	1,000,000	1,000,000	0
8.予備費	7,536,031	9,668,929	△ 2,132,898
合 計	58,286,456	51,384,929	6,901,527

★1 印刷製本費

これまで対面で行ってきた事業(会議・懇談会等)で出席者にクリアファイルを配付していましたが、コロナ禍により配付機会が減ったため、今年度はクリアファイルの新規製作を行わないこととし、製作経費を減額しました。

★2 通信費

定期総会の書面審議に伴い、郵便料を増額しました。

★3 業務委託費

後援会ホームページのリニューアルに伴う製作費と、後援会事務運営委託費を計上しました。

★4 就職対策助成費

コロナ禍における学生への就職支援の拡充を図るため、緊急対応として、今年度に限り、キャリアカウンセラー増員に係る経費を計上しました。

★5 大学祭等助成費

昨年度は中止となりましたが、今年度はオンラインイベントとキャンパスイベントの併用で開催される予定のため、花火とプロコンサートに係る助成費を計上しました。



★6 教育懇談会経費

昨年度は中止となりましたが、今年度は対面とオンラインの併用で開催することに伴い、動画撮影費等の経費を計上しました。

★7 就職懇談会経費

今年度もオンラインにて開催することに伴い、外部講師の謝礼及び動画撮影費等を計上しました。

★8 図書購入助成費

図書購入費及び電子書籍閲覧サービスのライセンス費となります。昨年度はサービスの導入費がかかりましたが、今年度はライセンス費のみとなるため、その分減額となりました。

★9 学習支援助成費

自主学習の場づくり(附属図書館の什器入れ替え)や、補完教育の推進(ラーニングコモンズにおける学習支援スタッフの拡充、支援講座の実施、貸出PC用消耗品)に係る助成費を計上しました。



マーガレット本館1階のラーニングコモンズ (9月リニューアル予定)

★10 災害対策助成費

昨年度は、2年分の防災セットや防災コンテナを購入しましたが、今年度は1年分(1,000セット)のみ購入のため、減額となりました。

★11 予備費

今年度も新型コロナウイルス感染症流行に伴う学生への支援経費とし、以下の支援を行います。

- ワクチン職域接種の支援(9月以降、相模女子大学内に接種を予定)
ワクチン代は国から出るが、医師や看護師、会場運営等の費用は大学側の持ち出しとなるため、学生に要する費用の一部を後援会で支援する。
- 空気清浄・換気対策の支援
主に附属図書館に空気清浄機を増設し、換気が十分でない教室(マーガレット本館、4号館等)にはサーキュレーターを設置する。
- その他
今後の予算執行状況を見ながら、必要に応じて支援を行う。

2021年度事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大による社会情勢の大きな変化は、学生たちの学びや生活に大きな影響を及ぼしている。後援会は、大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を後援し、大学の発展に寄与するという目的に沿って、次の支援事業を行うこととする。

会議等

- 常任理事会及び理事会を必要に応じて開催し、重要事項を審議する。
- 定期総会を1回開催する。／書面形式での開催。
- 教育懇談会を開催する。／6月12日(土)ハイブリッド形式(オンデマンド講演+対面形式の懇談会等)での開催。
- 就職に関する懇談会を開催する。／10月頃、リモート形式での開催。
- その他
※今年度の相生祭は、後援会としての出店を見送る。

相模女子大学・
相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。
- 学生の福利厚生の充実を図る。
- 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
- 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
- 相生祭等、学生の自主的活動を援助する。
- 学生の就職活動を支援する。
- 学生の地域連携活動を援助する。
- その他

会員への情報発信

- 刊行物(会員、その他関係者に配付する。)
・会報(年2回 9月・3月)
・その他参考資料
- 後援会ホームページの開設・運用
・後援会の新着情報・インフォメーションの発信
・後援会から援助した学生活動等の紹介

弔意

学生、学生の父母または保証人の死亡に対して弔慰金を支給する。

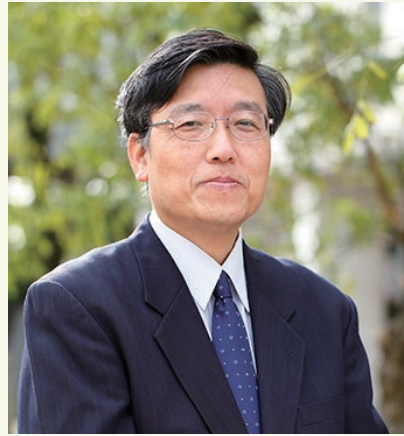
大学だより

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

平素相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育と運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年4月より相模女子大学・相模女子大学短期大学部学長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度もコロナ禍の中でのスタートとなりました。加えて、梅雨や夏季の大雨による災害も起こりました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。神奈川県にはまん延防止等重点措置が繰り返し延長しながら適用され、緊急事態宣言も発出されました。さまざまに制約のある中で、本学も学生の安全を守ることを第一に運営を行ってまいりました。今年度の入学式は昨年度のように中止には至りませんでしたが、保証人やご家族の皆様にご臨席いただけませんでしたことは、やむを得ないこととは言え、たいへん申し訳なく存じます。春学期については、講義は基本的にオンラインで、実習や演習は対面とオンラインを適宜組み合わせる形で授業を行いました。授業がほぼすべてオンラインに限定されて校内も閑散としていた昨年度の春学期よりは対面授業の機会が増えたものの、さまざまなご心配やご不便をおかけしたことを申し訳なく存じます。こうした状況下で、可能な限り充実した授業を展開できるよう、教職員が一致して全力で取り組んでまいりました。オンライン授業に対する教員の習熟度の向上や方法論の蓄積・共有もあり、授業支援システムmanabaをはじめ、Zoomなどの運用も昨年度よりスムーズに進んだと考えております。また、通学や対面授業への参加に不安を感じる学生への配慮も可能な限り行いました。もちろんまだまだ至らぬ点もありますが、学生の皆様がより充実したキャンパスライフを送れるよう、努力を重ねる所存です。どうぞご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

コロナ禍によって、今まで当然と考えていたコミュニケーションのあり方もあらためて問い直されることになりましたが、先日、企業が新卒生の採用にあたって求めるものとして、「基本的なコミュニケーション能力」が第一位を占めたという統計を見かけました。同様のことはこれまでも企業の採用担当の方々から何度か直接お聞きしたことがあります。とりわけ、幅広い年齢層の相手に対するコミュニケーション、多様な文化背景を持つ人々とのコミュニケーションは、ふだん同世代との交流が中心になり、また他者との接触もSNSなどを介した間接的な手段に偏りがちな若い学生にとっては、経験の機会も少なく、不得手になりがちであると思います。コミュニケーションスキルの習得ももちろん重要ですが、コミュニケーションには、他者の状況を理解し、その心情を慮ることが不可欠です。その意味でコミュニケーションは理解力、想像力と表現力を総合して行うものであり、そうした真のコミュニケーション能力を涵養することは、専門分野に関わらず、大学・短期大学の重要な課題であると考えております。そのために授業や課外のさまざまな局面で努力してまいりますが、ご家庭におかれましても、あらためて、折に触れて言葉による意思疎通を行うことを心がけていただければ幸いと存じます。何とぞよろしくお願いいたします。



日本語日本文学科 学科長 山田 純

昨年来、オンライン授業が広く展開されております。日本文学分野は、こうしたハイテクの極北にあるような学問ですから、対応困難、と思いきや、それが正反対であったことが判明した1年でした。と申しますのは、オンラインですと、本来ならば「汚さないでえ!!」と泣きながら学生に見せている重要文化財級の古写本を、高精細の写真で一斉閲覧できます。のみならず、その画面上の古写本に、「これが藤原某の朱点です!」などと赤ペンでグルグル囲むことまでできるわけです。かつては、公家などの貴族だけが独占してきた日本文学を、日本文学史1300年の中で誰よりも近しく接することができるわけです。この機会を逃すわけにはいきません。今後はオンラインと対面授業の良いところを組み合わせ、いよいよ精進して参りますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



子ども教育学科 学科長 新平 鎮博

新しい年度がスタートして、何よりうれしいのは、対面授業が増え、学生さんの笑顔がみられるようになったことでしょうか? まだまだ、新型コロナウイルス感染症ですが、子ども教育学科としても学生の学びのサポートに努力を続けたいと思います。

本学のモットーから、保育・教育の世界では、子どもたちのことがわかる(見つめる人になる)、自分の学びから実践する(見つける人になる)ことが大切です。そのことは、夢と希望をもちながら成長する子どもたちをサポートする保育者・教育者の役割だと考えています。子ども教育学科では、1～2年生の授業と演習で基礎を学ぶ、3～4年生は実習を通じて応用を学ぶことで、社会で活躍できる人材を育成しています。様々な専門領域をもつ本学の専任教員を中心に、学んだことを卒業後に生かせるように、今後も、しっかりと学生の学びのサポートをいたします。



英語文化コミュニケーション学科 学科長 九里 徳泰

コロナ禍において留学、語学研修といった海外での学びをいかに実現するのかということに注力しています。オンラインでサンフランシスコ州立大学、シドニー大学など海外の一流校で学ぶ機会を設けました。ベトナムで事業を展開する日本企業へのオンラインインターンシップも実施し、とても好評でした。厳しい学びの環境下であります但对面を超える新しい授業開発へのチャレンジです。また、本学科は昨年度に続き就職率100%を達成しました。大手企業の総合職への進路比率が毎年増加しています。学生活動では、3年生が「まちだ未来 ビジネスアイデアコンテスト」で大賞を受賞しました。「発想教育」の定着を実感しています。本年は学芸学部英米文学科開設から55年を迎えました。伝統ある英文科として益々社会に貢献できるよう邁進したいと思います。



メディア情報学科 学科長 岩下 朋世

平素よりのご支援、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症のため、本春学期も授業実施はオンラインが中心となりました。オンライン授業を重ねる中あらためて実感したのは、さまざまなメディアによって私たちの生活が支えられていることです。インターネットがなければこの状況下で私たちにできることも大きく変わっていたでしょう。数多の情報が飛び交う中で、メディアとの接し方、情報の読み解き方もますます重要となっていますし、アニメやマンガ、映画などのエンターテインメントがもたらす楽しみの大切さにも気付かされる日々です。

メディア情報学科では2020年度から新たなカリキュラムが始まりました。各種のメディアに関わる展示施設やアーカイブも増えつつある状況を受け、博物館等での職員に必要な学芸員資格、図書館で働くための司書資格も取得可能となっています。メディアに囲まれた現代そして将来の社会を生きる上で役立てることのできる学びを提供するために、これからも努力していく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。



生活デザイン学科 学科長 桑原 茂

昨今、行政や企業が新企画等を起こす際に、課題解決の手段を見出す方法論として、デザイン思考（デザイン構築の過程）が多くの分野で注目されています。社会需要の高揚に対応した新カリキュラムを21年度に始動しました。より大きなニュースは、定年退職等にて3教員が入替ったことです。サントリーのデザイン部などで活躍してきた堀内恭司教授（ヴィジュアル分野の指導担当）、隈研吾建築都市設計事務所にてパートナーとして国内外の様々なプロジェクトに参画してきた柴田淳准教授（建築・インテリア分野の指導担当）、オンデザインパートナーズにてプロダクトから建築まで多様な仕事に従事されてきた梶田久美子専任講師（プロダクト分野の指導担当）。非常に豊かな実績と経験を持つ教員構成となり、強力かつ実践的なデザイン教育を担える体制が整いました。



社会マネジメント学科 学科長 井坂 聡

昨年度は、大学全体で万全な態勢が整わないままオンライン授業が始まり、学生の皆さんに大きなストレスを抱えさせてしまいました。オンライン授業の一番の問題は、個々の機器やネット環境で、受講の質が大幅に左右されることです。社会マネジメント学科では、その解決なくして平等な授業はないと考え、今年度は入学時納付金を少し上げるかわりに、十分な性能を持つノートパソコンを一括購入し、新入生全員に入学時に配付しました。また、今年度になってようやく大学に来る機会が増えた2年生も、新入生同様のきめ細かなサポートが必要であることを学科教員全員で共有しております。学科の持ち味である地域や人との関わりを重視した授業を思う存分行える環境にはまだありませんが、学生が少しでも実り多い学生生活を送れるように精一杯努めてまいります。



管理栄養学科 学科長 樋川 直司

管理栄養学科では、本年度の1年次生から新カリキュラムが始まりました。大幅な改訂ではないのですが、学生さん達にとって学びやすいカリキュラムとなっています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、学生さん達が大学へ登校して受ける対面授業は昨年度に比べ増えはしましたが、多くはない状況となっています。私自身、本年度は感染予防に気をつけながら対面授業を行っていますが、改めて実感させられたことがあります。人を目の前にして授業をすること、話すことの重要性です。対面授業では、学生さん達の反応や感情の変化を知りながら、それに応じて授業を進行することが可能です。これは学生さん達にも言えることで、教員や友人の表情や反応を感じながら学ぶ事で、個別ではなく一体感を得ることができるようです。このことは、コミュニケーション能力が必要な管理栄養士には特に必要な事で、これからも忘れずにいてほしいことの一つです。



食物栄養学科 学科長 平井 昭彦

食物栄養学科は、栄養士入門講座や食物基礎実験を通じて栄養士課程に対する意欲を開拓することから始め、専門科目さらには発展科目と段階的に受講することにより、食を通して人々の健康の維持・増進に積極的に関わることでできる栄養士育成を目指しております。昨年度はコロナ禍による就職率低迷の中、本学科では就職希望者の就職率100%を維持することが出来ました。卒業生の2/3は栄養士として就職し、7名が4年制大学へ進みました。本年度も講義科目は原則オンライン授業となる中、実験・実習科目では対面での授業を実施し、体験に基づいた学修を行うと共に仲間や教員との触れ合いを経験することで、少しでも充実した学生生活を送れることを目指しております。食と栄養はパンデミック下にあると、いやむしる閉塞社会にあるからこそ重要度が増しております。食物栄養学科では、閉塞社会にあっても人々の健康を維持・推進できるような学びを提供できるよう、教育に励んでまいります。後援会の皆さま方には今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



人間心理学科 学科長 日戸 由刈

人間心理学科では、心理学をはじめ社会福祉学や哲学、倫理学、文化人類学なども含めて人のこころについて幅広く学ぶことにより、地域社会のなかで活躍できる人材を育てることを目指しております。学びの中には、「社会福祉士」と「公認心理師」という2つの国家資格に対応したカリキュラムも用意されています。どちらのコースも定員があり、資格取得を真剣に目指す学生たちは1年生のうちから熱心に勉強しています。また、体験を通した学びとして、さまざまな演習授業や地域貢献活動の場が用意されています。昨年度はコロナ禍のため、これらはオンラインでの開催となりましたが、教員の創意工夫と学生の主体的な参加により、オンラインでも質を落とすことなく、むしろオンラインの強みを活かして、充実した体験ができたのではないかと思います。後援会のみなさまには、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



健康栄養学科 学科長 山田 とし子

健康栄養学科は『人の健康に食分野から幅広くアプローチ』をテーマに、『食・栄養・健康』に関連する講義や実験実習を通して、社会で活躍する人材の育成を目指しています。今年度は新たに実験実習助手として金澤里奈先生、土橋葵先生が加わりました。新型コロナウイルス感染症予防のために講義はオンライン、実験実習は人数を減らして対面授業を実施していますが、今後も感染症のリスクと対面授業の利点とのバランスを考えながら授業を運営したいと考えております。正課外の活動が制限される中、企業と共同開発した『名古屋コーチン味噌煮』が宇宙日本食として国際宇宙ステーションに行ったことは大変うれしいニュースでした。新型コロナウイルス感染症と関わりながらの生活において、健康栄養学科の学びはますます重要になっています。後援会の皆様には引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



大学院栄養科学研究科 研究科長 黒岡 尚徳

設置後11年目となる栄養科学研究科では、今年度から新しいカリキュラムがスタートしました。現在、博士前期課程に4名の大学院生が在籍しており、健康栄養学科と管理栄養学科に所属する19名の教員が、各専門分野について最先端の授業を担当しています。昨年度は多くの授業がオンラインで実施され、初めは大学院生も教員も戸惑うことがありましたが、いくつかのメリットも実感しました。今年度は、さらにオンライン授業の特性を生かしていくとともに、対面での研究活動も可能な範囲で増やしていければと考えています。また、本研究科は、社会人のための特別入試制度や長期履修制度を設けており、社会で活躍されている方にも広く門戸を開放しています。後援会の皆様には、この点もご理解いただき、引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



大学院社会起業研究科 研究科長 金森 剛

2020年度に専門職大学院「社会起業研究科」を設置しました。2年間でMBAがとれる、男女共学の社会人向け修士課程です。後援会の皆様も是非ご入学ください。各種の社会的課題解決にあたる「ソーシャル・アントレプレナー」を育成しています。経営学の諸領域とコミュニティデザインやコミュニケーション技法を学びます。院生は20代から70代までおり、男性が3～4割います。独立起業するだけでなく、企業や自治体の中で新規事業を開発する方も対象としています。平日夜間（オンライン）と土曜日昼間に開講、学費は国立大学並みに抑えました。専任教員は11人、いずれも実務経験が豊富です。今年度の入試はこの後、学部生向けが10月と3月、社会人向けが12月、2月、3月です。



【社会起業研究科ホームページ】
<https://www.gsse-sagami.jp/>

新任教員紹介

子ども教育学科 講師 柳 健 担当科目:算数科指導法



今年の3月末まで25年間、小学校の教員として勤務しておりました。これまで算数・数学教育を専門とし実践・研究を重ねてきました。小学校の先生という仕事の魅力や、やりがい、様々な経験を伝えることで1人でも多くの学生が小学校教員としてスタートを切ることができるよう、現場で十分に力を発揮できる即戦力となる先生となれるよう後押しをしていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

メディア情報学科 講師 金 相賢 担当科目:広告演習



4月にメディア情報学科に着任いたしました金と申します。近い将来のメディアとして高臨場感のコンテンツがヒットに与える影響を研究しています。テレビ番組や映画、PV制作の経験をベースに映像表現を中心とした「広告演習」を教えています。学生に企画や撮影、編集作業を通じてコンテンツ制作の苦しみやそれを乗り越えた時の楽しさを味わい、メディアの未来についても考えてもらいたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

生活デザイン学科 准教授 柴田 淳 担当科目:建築演習



ロンドン大学パートレット校建築学部修士課程修了後、2006年から2021年まで、隈研吾建築都市設計事務所に約15年勤務していました。在職中はパートナーとして、国内だけではなく様々な国のプロジェクトに関わってきました。相模女子大学では、生活デザイン学科で建築を専門として教えています。2021年柴田淳建築設計事務所設立後、個人での活動と共に、継続した隈研吾建築都市設計事務所のプロジェクトを通して、最新の技術や現場を学生へ伝え、教育と実務を結びつける活動を行っています。

生活デザイン学科 講師 栗田 久美子 担当科目:プロダクトデザイン基礎 建築デザイン演習



4月より生活デザイン学科の専任講師に着任しました。専門は、プロダクトデザイン、建築デザインです。これまで地域拠点のデザイン、シェアスペース、オフィス、キャンパスの設計など、コモンスペースについてのデザイン・研究に携わって参りました。現場で得た経験を活かした指導をおこない、多様な人材を育成していきたいと考えています。また、まだまだ業界では少ない女性の活躍の場を広げていけるよう学生をサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

生活デザイン学科 教授 堀内 恭司 担当科目:ビジュアル領域



4月より生活デザイン学科へ着任いたしました堀内と申します。主にビジュアル領域を担当しております。大学のデザイン科に学びビジュアルデザインを専攻した後、メーカーの宣伝部に経てこれまで約30年間アートディレクターとして広告の制作に携わってきました。ビジュアル領域ではグラフィックデザインを「情報をデザインすること」と位置付け、そのビジュアルを構成する要素、色、形、文字(言葉)における表現の可能性を研究して参ります。物を創る課程に重きをおき、造形力と同時に発想力が身につくよう実践して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

管理栄養学科 准教授 下島 優香子 担当科目:食品衛生学



4月に管理栄養学科に着任いたしました。主に食品衛生学を担当します。食品は栄養がおいしいだけではなく、安全である必要があります。私は獣医師として地方自治体に勤務し、食品衛生行政に係る試験検査、調査研究を行っていました。現場経験を踏まえて指導し、食品の安全・安心を確保できる管理栄養士を育成していきたいと思います。また、食品衛生の向上につながる研究を進めたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

管理栄養学科 助教 藤崎 香帆里 担当科目:給食経営管理実習



4月に管理栄養学科に着任いたしました。主に給食経営管理実習を担当しております。これまで、東京都の学校栄養職員、管理栄養士養成校にて助手として勤務しておりました。給食経営管理は、栄養管理された食事を安全かつおいしく提供するための基礎となる大切な分野です。実務経験も交えながら、学生たちが管理栄養士を目指してよかったと思えるような実践的な指導を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教職センター 特任教授 諏訪部 真史 担当科目:学校教育概論



4月に着任しました、諏訪部真史と申します。先日、学校から帰る途中前を歩いている2名の学生が、何かを拾い、それをそっと脇によけました。近くを通ると誰かが落とした「めがね」が踏まれないように置かれていました。「さりげないやさしさ」これが、サガジョの魅力なのですね!! 大好きになりました。学校は感動の宝庫です。教職を目指す皆さんを、最大限支援します。宜しくお願いいたします。

相生祭延期のお知らせ

今年度の相生祭は、オンラインイベントとキャンパスイベントの併用で11月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、準備が十分に行えないことから、延期となりました。日程や内容が決まり次第、大学ホームページ等でお知らせします。なお、後援会としての出店は今年度は見送ります。

会員の住所変更について

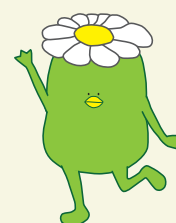
本誌は、学生が、学修・生活支援課に届け出ている保証人住所宛に送付しています。保証人住所を変更される場合は、学生本人による手続きが必要です。詳しくは、学修・生活支援課へお問い合わせください。

問い合わせ先 学修・生活支援課 042-813-5069

ホームページをご利用ください!

会員の皆様と後援会をつなぐパイプの一つになればと思っております。よろしくお願いいたします。

<https://www.sagami-wu.ac.jp/parent/association/>



就職状況報告

後援会会員の皆様には日頃より就職支援に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。
本学学生の就職状況および就職支援課の取り組みにつきましてご報告させていただきます。

〈2021年度卒業生の就職活動状況〉

大学4年生および短期大学部2年生の就職活動は、インターンシップから内定までのすべてがオンラインで完結する「オンライン就活元年」と言われています。2020年度卒業生の時は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で途中からオンラインへの切り替えが求められていましたが、インターンシップや初期の面接は対面での実施でした。しかしながら、2021年度卒業生は大学3年生、短期大学部1年生の夏季インターンシップの段階からオンライン中心となっています。

また、昨年度はオンラインでの就職活動が始まったばかりであったため、グループディスカッションの実施がかなり少なくなりましたが、今年度は企業側のオンライン採用の経験値が上がったこともあり、オンラインでのグループディスカッションがかなり増えてきています。そのため、学生たちはオンラインでの面接対策に加え、グループディスカッション対策もする必要があります。

オンラインでの就職活動は、会社の雰囲気を感じることができない、会社への熱意を伝えづらいなどデメリットがありますが、一方で時間や場所、費用の制約が少ないなどのメリットがあります。学生たちには、デメリットばかりを嘆くのではなく、メリットを最大限に活用して就職活動に邁進してもらいたいのです。私たち就職支援課も学生たちの就職活動が停滞しないように、個別の支援を続けていきます。

〈2022年度卒業生の就職活動〉

大学3年生および短期大学部1年生の就職活動については、基本的に現行の日程と変更がないことが確認されています。つまり、2022年3月から採用情報の解禁、6月から選考が解禁されます。一方で独自のスケジュールで採用選考を行う企業・業界があるため、「3月会社説明会、6月選考開始」をスケジュールの目安としつつ、選考が本格的に始まるまでに進みたい業界・企業の選考スケジュールを確認しておくことが必要になります。

就職支援課では、大学3年生を対象に4月から、短期大学部1年生を対象に7月から「就職準備講座」を実施しています。この講座は、業界・職種に関わらず、就職活動を行うすべての学生に必要な内容となっています。これまでの出席率は毎回80%程度となっており、多くの学生が就職活動に意欲的に取り組んでいます。

授業のオンライン化や外出自粛などの影響により、就職活動においては、自分から情報を取りに行く人と、自分からなかなか動けない人との差が大きくなっているといわれています。学生たちには、ぜひ自分から情報を取りに行き、積極的に就職活動に取り組んでもらいたいと思うと同時に、就職支援課としても社会の動向や学生のニーズをいち早く捉え、手厚い支援をしていきます。

「就職懇談会オンライン」開催のお知らせ

今年度もオンライン（動画配信）にて開催します。

- 配信内容（予定）**
- (1) 内定獲得学生へのインタビュー（各学科1～2名の学生が出演予定）
 - (2) 外部講師の講演
 - (3) 就職支援課からの報告（就職状況・就職支援の取り組み）等

配信時期 10月下旬～1月上旬頃

開催通知及び動画の閲覧方法は、保証人宛に郵送いたしますご案内をご確認ください。



2020年度進路決定状況

進路決定者数

	日文	英文	教育	情報	デザイン	社会	心理	健康	管理	大学計	栄養	短大計
卒業生(A)	81	67	107	46	67	83	78	86	108	723	105	105
非就職者	大学院	0	1	2	1	0	0	0	0	4	0	0
	大学(編入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
	専門学校・各種学校	1	1	1	0	1	0	1	0	5	6	6
	留学(進路先未確定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	アルバイト	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	家事従事	19	12	1	10	10	2	8	3	68	9	9
	未登録・未報告他	3	2	2	1	2	5	10	0	25	1	1
	計	23	16	6	12	13	8	19	3	103	24	24
就職希望者	未決定者	3	0	0	0	0	3	1	0	7	0	0
	決定者(B)	54	51	99	32	51	72	58	83	605	81	81
	計(C)	57	51	99	32	51	75	59	83	612	81	81
	希望率(C/A)	70.4%	76.1%	92.5%	69.6%	76.1%	90.4%	75.6%	96.5%	84.6%	77.1%	77.1%
	決定率(B/C)	94.7%	100%	100%	100%	100%	96.0%	98.3%	100%	98.9%	100%	100%

決定者の職種別内訳

	日文	英文	教育	情報	デザイン	社会	心理	健康	管理	大学計	栄養	短大計
総合職	9	14	4	8	18	16	12	9	5	95	1	1
事務職	10	7	4	3	2	15	8	4	5	58	2	2
司書・図書館関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業職	3	6	2	1	2	10	3	3	1	31	0	0
販売職	12	6	2	0	10	7	5	5	0	47	1	1
栄養士	0	1	0	0	0	0	0	45	21	67	60	60
管理栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	70	70	0	0
食品技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
食品衛生監視員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
学校栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
保育士	0	0	46	0	0	1	0	0	0	47	0	0
保育教諭	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0
介護職・生活支援員	0	1	0	2	0	2	8	0	0	13	1	1
児童指導員	0	2	4	0	0	1	1	0	0	8	0	0
社会福祉士	0	0	0	0	0	1	4	0	0	5	0	0
教諭(幼稚園)	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14	0	0
教諭(小学校)	0	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0
教諭(中学)	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0
教諭(高校)	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0
教諭(その他学習塾など)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
設計職	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0
製造職	3	0	0	0	1	0	1	0	0	5	1	1
サービス職	9	9	7	3	7	8	11	8	1	63	6	6
インストラクター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エステティシャン	1	0	0	0	0	2	1	2	0	6	0	0
警察・自衛隊	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
デザイナー	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0
SE	4	3	0	14	0	7	2	2	0	32	0	0
プログラマー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
webデザイナー	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	0	0
その他の専門職	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0
生産工程従事者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2
その他	1	0	1	0	0	0	1	0	1	4	1	1
合計	54	51	99	32	51	72	58	83	105	605	81	81

近況報告

学修・生活支援課の取り組みについて

後援会会員の皆様には、日頃よりご支援賜り、感謝申し上げます。

2019年10月、旧教務課と旧学生支援課が統合し、新しく学修・生活支援課が発足しました。履修・資格免許や奨学金、クラブなど、入学から卒業までの学生生活の基礎をワンストップでサポートする総合窓口として、日々学生の支援を行っております。新型コロナウイルス感染症の影響による大学の支援としては、一部オンライン授業が続いているため、昨年度に引き続きパソコンやルーターの無償貸与を行い、manabaやZoomなどの授業に出席できるようサポートを行っております。

新たな取り組みとしては、2021年9月より学修・生活支援課の隣にありますラーニングコモンズをさらに活用し、学生の補完教育を充実していきます。具体的には、スペース



クラブ(吹奏楽部)活動の様子

内に新たに専門の相談員を配置し、英語・数学・理科の補完教育、レポートライティングなどの指導、講座等の実施、個別の学修相談にも応じます。

課外活動の面では、クラブ・委員会の活動に必要な備品の購入など例年多大な援助をいただいております。

今後とも学修・生活支援課にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大学事務部学修・生活支援課長 石上 正也

附属図書館における学習支援状況について

後援会会員の皆様には日頃よりご支援を賜り、感謝申し上げます。

大学・短期大学部では、昨年度に引き続き、対面とオンラインを併用した授業を行っております。附属図書館では、昨年度、後援会から助成をいただき、電子ジャーナル・データベース・電子書籍といった電子コンテンツに学外からアクセスできるシステムを導入し、オンライン授業に対応できる環境を整えました。

この他、昨年度に引き続き、オンラインレファレンスやオンライン授業用の図書館ガイダンス資料提供、卒業研究履修者を対象とした図書郵送貸出等を実施しております。

後援会からは、学外から電子コンテンツに接続するシステムの維持費と、図書費、グループ学習室の



レポート作成図書展示

什器更新にかかる費用を助成いただく予定です。

今後も学生の学習支援に努めて参りますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますと幸いです。

大学事務部学術研究支援課長 古越 奈央

コロナ禍における取り組みについて

後援会会員の皆様には日頃より学生の社会貢献活動や国際教育へのご支援を賜り感謝申し上げます。

昨年度はコロナ禍により、予定していた学外での活動が軒並み中止となりましたが、日頃活動に関わる自治体や企業の方と協働しながら新たな活動の形を模索してまいりました。昨年3月には、東日本大震災の発生以降、岩手県大船渡市と交流を深めてきた「復興支援学生ボランティア委員会」の学生が、同市の市花「椿」を題材に制作した紙芝居「おおふなトンたんじょうものがたり」を製本化し同市に寄贈するべく、現地の大船渡市長と回線を繋ぎ、オンラインによる贈呈式を開催いたしました。ほかにも、本学の魅力を学内外に向け発信したいと考える学生により結成された

「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」が、日頃の活動の様子を発信する学生運営サイトを立ち上げるなど、創意工夫を凝らした成果物を作りあげてまいりました。

このように昨今の情勢が契機となり活動の新たな可能性を見出すことができたことは、学生にとって大きな収穫であったと考えております。学生運営サイトは下記よりアクセスいただけます。是非ともご覧ください。

夢をかなえるセンター連携教育推進課長 会田 恵子

夢をかなえるセンター学生運営サイト

夢をかなえるセンターで行う社会貢献活動や国際教育について、実際に活動に参加している学生から情報を発信しています。

<https://ymkn.sagami-wu.jp/>



2021(令和3)年度 学年暦【大学】

9月8日(水)～10日(金)
秋学期Web履修科目
登録期間

1月19日(水)～25日(火)
秋学期最終授業週および
秋学期末定期試験期間

9月20日(月)
秋学期授業開始

1月25日(火)
秋学期授業終了

10月18日(月)
創立記念日

1月26日(水)～28日(金)
秋学期末定期試験期間

12月24日(金)
秋学期前半授業終了

1月26日(水)・27日(木)
レポート提出日

12月25日(土)～1月11日(火)
冬季休業

2月14日(月)
卒業年次生成績発表

2022(令和4)年

3月10日(木)
卒業式

1月12日(水)
秋学期後半授業開始

3月15日(火)・16日(水)
秋学期成績発表、
在学生オリエンテーション

2021(令和3)年度 学年暦【短大】

9月8日(水)～10日(金)
秋学期Web履修科目
登録期間

1月19日(水)～25日(火)
秋学期最終授業週および
秋学期末定期試験期間

9月20日(月)
秋学期授業開始

1月25日(火)
秋学期授業終了

10月18日(月)
創立記念日

1月26日(水)～29日(土)
秋学期末定期試験期間

12月24日(金)
秋学期前半授業終了

1月26日(水)・27日(木)
レポート提出日

12月25日(土)～1月11日(火)
冬季休業

2月14日(月)
卒業年次生成績発表

2022(令和4)年

3月10日(木)
卒業式

1月12日(水)
秋学期後半授業開始

3月15日(火)・16日(水)
秋学期成績発表、
在学生オリエンテーション

電話番号案内

学生生活に直結する主な部署の電話番号は次のとおりです。
何かありましたら、お気軽にお問い合わせください。

大学事務部

学修・生活支援課
☎042-813-5069

授業、試験、成績、課外活動、奨学金、休学、復学、退学等、
学業および学生生活全般に亘る事柄を担当しています。

学生相談室
☎042-746-6672

学生生活の中で出会う様々な事柄についての相談を担当
しています。

入試課
☎042-749-5533
フリーダイヤル ☎0120-816-332

各種入学選抜やオープンキャンパス等に関する事柄を担
当しています。

保健センター

保健センター
☎042-747-9072

心身の健康に関する相談を担当しています。

夢をかなえるセンター

連携教育推進課
☎042-813-5038

社会貢献活動、国際教育(留学・研修)等、正課外におけ
る学生の主体的な学びを担当しています。

就職支援課
☎042-742-1734

就職や進学に関する相談を担当しています。

生涯学修支援課
☎042-747-9017

授業外の資格取得支援や生涯学修を担当しています。

2022年度相模女子大学・相模女子大学短期大学部 入学者選抜日程

大 学 院	栄養科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）・社会起業研究科（専門職大学院）
大 学	学 芸 学 部 ：日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科 人間社会学部 ：社会マネジメント学科・人間心理学科 栄 養 科 学 部 ：健康栄養学科・管理栄養学科
短期大学部	食物栄養学科

＊ WEB出願のみの受付です（編入学試験を除く）

選抜制度	日程	願書受付期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
学校推薦型選抜 （公募制）	A日程※1	郵送11月1日(月)～11月6日(土)消印有効 窓口受付11月8日(月)15時まで	11月13日(土)	12月1日(水)	12月8日(水)
	B日程	郵送11月16日(火)～12月6日(月)消印有効 窓口受付12月7日(火)15時まで	12月11日(土)	12月18日(土)	12月24日(金)
一般選抜	A日程※2	郵送1月8日(土)～1月17日(月)消印有効 窓口受付1月18日(火)15時まで	1月23日(日)	1月29日(土)	2月4日(金)
	B日程	郵送1月8日(土)～1月24日(月)消印有効 窓口受付1月25日(火)15時まで	1月30日(日)	2月5日(土)	2月10日(木)
	C日程	郵送1月26日(水)～2月9日(水)消印有効 窓口受付2月10日(木)15時まで	2月16日(水)	2月19日(土)	2月25日(金)
	D日程	郵送2月14日(月)～2月26日(土)消印有効 窓口受付2月28日(月)15時まで	3月3日(木)	3月6日(日)	3月11日(金)
大学入学共通 テスト利用選抜	A日程	郵送1月8日(土)～1月14日(金)消印有効		2月12日(土)	2月18日(金)
	B日程	郵送1月8日(土)～2月9日(水)消印有効 窓口受付2月10日(木)15時まで		2月19日(土)	2月25日(金)
	C日程C1方式	郵送2月14日(月)～2月26日(土)消印有効		3月6日(日)	3月11日(金)
	C日程C2方式	窓口受付2月28日(月)15時まで			3月18日(金)
同窓生特別推薦選抜 （本学キャンパス）	A日程※1	郵送11月1日(月)～11月6日(土)消印有効 窓口受付11月8日(月)15時まで	11月14日(日)	12月1日(水)	12月8日(水)
	B日程	郵送2月14日(月)～2月26日(土)消印有効 窓口受付2月28日(月)15時まで	3月4日(金)	3月6日(日)	3月11日(金)

＊学芸学部子ども教育学科では、同窓生特別推薦選抜B日程を実施しません。 ＊栄養科学部では、学校推薦型選抜（公募制）B日程、同窓生特別推薦選抜B日程を実施しません。
＊栄養科学部管理栄養学科では、一般選抜D日程を実施しません。 ＊大学院入試および総合型選抜についてはホームページをご参照ください。
※1 学校推薦型選抜（公募制）A日程と同窓生特別推薦選抜A日程は、2021年11月13日(土)に仙台市、新潟市、長野市、静岡市、那覇市の5都市の地区会場でも実施します。
（管理栄養学科のみ地区会場で同窓生特別推薦選抜を実施しません。詳細については、下記までお問い合わせください。）
※2 一般選抜A日程は2022年1月23日(日)に地区会場（甲府市のみ）でも実施します。

【同窓生特別推薦選抜について】

次の①から⑥の条件を満たし、責任をもって推薦できる⑦、⑧のいずれかの者。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2022年3月卒業見込みの者。ただし、調査書の提出が可能な者に限る。
- ②本学を第一志望とし、合格したら必ず入学する者（専願制）。
- ③調査書の全体の評定平均値が、条件を満たしている者（参照は受験ガイドp.21）。
- ④[栄養科学部健康栄養学科] 上記に加え、高等学校もしくは中等教育学校時代に「生物基礎」および「化学基礎」を履修していること。
- ⑤[栄養科学部管理栄養学科] 上記に加え、高等学校もしくは中等教育学校時代に「生物基礎」および「化学基礎」を履修していること。
付帯事項:「生物」および「化学」を履修していることが望ましい。
- ⑥[短期大学部食物栄養学科] 上記に加え、高等学校もしくは中等教育学校時代に「生物基礎」、「化学基礎」、「科学と人間生活」のいずれかを履修していること。
- ⑦本学卒業生または在学生の4親等以内にあたる者（4親等以内とは子ども、姉妹、孫、姪、従姉妹などが含まれます）。
- ⑧本学卒業生が現在高等学校もしくは中等教育学校の教員（専任・臨時）または講師（専任、非常勤）として教育した者で、学校長の推薦を受けた者。
なお、非常勤講師からの推薦の場合は、学校長の推薦のほかに受験生の担任教員もしくは進路指導部長の推薦も併せて必要になります。
※「化学基礎」は、農業科・食品科学科・工業科等の専門学科で履修する「食品化学」、「工業化学」に置き換えることができます。
※⑧の教員または講師が推薦する場合は、事前に必ず推薦者から入試課までご連絡ください。

【編入学試験について】 実施学部:学芸学部・人間社会学部（栄養科学部の編入学試験〔7月試験〕は実施しました）

願書受付期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
郵送10月25日(月)～11月15日(月)消印有効 窓口受付11月16日(火)15時まで	11月20日(土)	11月27日(土)	12月3日(金)
郵送1月11日(火)～2月2日(水)消印有効 窓口受付2月3日(木)15時まで	2月8日(火)	2月12日(土)	2月18日(金)

【ミニオープンキャンパス】10月9日(土) 【入試説明会】12月11日(土)

【時間】10月・12月:14:00～16:00

【内容】入学者選抜に関する説明、キャンパス見学、個別相談など

※11月3日(水・祝)は10:00～15:00で見学可

【お問合せ先】大学事務部入試課 フリーダイヤル 0120-816-332／042-749-5533

（お問合せ・願書窓口受付時間）平日9:00～17:00 土曜日9:00～12:30

◆オープンキャンパス◆

9月19日(日) 10:00～15:00

11月28日(日) 12:00～15:00

学科説明・各種個別相談・キャンパスツアーなど

最新情報はホームページをご確認ください。

＊2021年8月6日現在の情報です。

相模女子大学 相模女子大学短期大学部

後援会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は相模女子大学、相模女子大学短期大学部後援会という。
- 第2条 本会の事務所を神奈川県相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学内におく。
- 第3条 本会は会員相互の親睦を図ると共に大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を後援し、もって大学の発展を期することを目的とする。

第2章 事 業

- 第4条 本会は、前条の目的を達成するための次の事業を行う。
- (1) 大学の教育研究活動の後援
 - (2) 学生の福利厚生に関する援助
 - (3) 学生の課外活動に対する援助
 - (4) 講演会、研究会、教育懇談会等の開催
 - (5) 刊行物の発行、配布
 - (6) その他、本会の目的達成に必要な事項
- 第5条 本会は前条の事業運営のため次の部をおく。
- (1) 総務部／総会・役員会等の招集、会議の記録、企画・調査・渉外等
 - (2) 事業部／福利厚生、課外活動、講演会、研究会、教育懇談会、会報の作成等
 - (3) 会計部／予算、決算、会費の徴収等

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- (1) 学生の父母または保証人
 - (2) 賛助会員
卒業生の父母または保証人、本会の役員会の推薦する者。

第4章 役 員

- 第7条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1名
 - (2) 副 会 長 2名以内
 - (3) 常任理事 3名以内
 - (4) 理 事 8名以上10名以内
 - (5) 監 事 2名
- 第8条 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
 - (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 - (3) 常任理事は会務並びに事業の執行にあたる。
また、会長の諮問に応ずる。
 - (4) 理事は本会の事業計画・予算・事業報告・決算その他重要事項を審議する。
 - (5) 監事は事業並びに会計の監査にあたる。
- 第9条 役員は次の方法により選任する。
- (1) 会長及び副会長は総会において正会員の互選により選出する。
 - (2) 常任理事は理事の中から会長が選任する。
 - (3) 理事及び監事は正会員より会長が選任する。

第10条 役員の任期は1年とし再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合はその後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

- 第11条 本会に顧問をおく。会長が、学長、副学長（3名）、短期大学部長、学芸学部長、人間社会学部長、栄養科学部長を顧問に委嘱する。加えて、会長は、後援会三役経験者および常任理事経験者を顧問に委嘱することができる。
2. 顧問は本会の運営について会長の諮問に応じ、総会および役員会に出席して意見を述べることができる。

第5章 会 議

- 第12条 会議は総会、常任理事会、理事会とし、会長がこれを招集する。
2. 前項の会議の議長は会長とする。
- 第13条 会議の議決は出席者の過半数による。
- 可否同数の時は議長がこれを決定する。

- 第14条 定期総会は毎年1回開催し、次の事項を審議する。
- ただし、会長が必要と認めたときは、臨時総会を開くことができる。
2. 定期総会並びに臨時総会は、理事会の議を経て、書面による総会をもってこれに代えることができる。
- (1) 事業計画・予算の議決および事業報告・決算の承認
 - (2) 会務の報告
 - (3) 役員の選任
 - (4) 事業の決定
 - (5) その他重要事項
3. 緊急の際は、理事会をもって総会にかえることができる。
- ただし、この場合、総会の事後承認を得なければならない。
- 第15条 常任理事会は会長・副会長・常任理事で構成し、総会および理事会で決定された会務を処理する。
- 第16条 理事会は会長・副会長・常任理事・理事・監事で構成し、事業計画・予算・事業報告・決算、その他重要事項を審議する。
2. 理事会は会長が必要と認めたときに、これを開催する。
- ただし、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。
3. 常任理事会の議を経て、書面による理事会をもってこれに代えることができる。

第6章 会 計

- 第17条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。
- 第18条 正会員は、年度毎に会費10,000円を納入する。なお、春学期休学し、秋学期に復学した場合は、秋学期の学費とともに納入する。
2. 一旦納入された会費は、いかなる場合も返還しない。
 3. 通年で休学した場合、当年度の会費は免除される。
- 第19条 賛助会員は正会員の会費（年額）を1口として、1口以上を随時納入するものとする。
- 第20条 本会の事業年度は、定期総会に始まり翌年の定期総会に終わる。
2. 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

- (1) この会則の改廃は、総会の議を経なければならない。
- (2) この会則の施行について必要な細則は別に定める。
- (3) この会則は1995年4月1日より施行する。
- (4) 1997年7月5日一部改正、1997年4月1日より施行する。
- (5) 2003年6月7日一部改正、2003年4月1日より施行する。
- (6) 2006年9月9日一部改正、2006年4月1日より施行する。
- (7) 2008年6月7日一部改正、2008年4月1日より施行する。
- (8) 2010年6月5日一部改正、2010年4月1日から施行する。
- (9) 2018年6月9日一部改正、2018年4月1日から施行する。
- (10) 2021年6月4日一部改正、2021年4月1日から施行する。

相模女子大学 相模女子大学短期大学部 後援会内規

第1章 弔慰金

学生または父母が死亡した場合の弔意は、次による。

- (1) 学 生 弔慰金40,000円および花輪または生花
- (2) 父 母 弔慰金20,000円および花輪または生花

第2章 旅 費

- (1) 役員会に出席した場合は、別記様式の旅費計算書の提出により旅費を支給する。交通費（5,000円を上限とする。）
- (2) 会長が特に必要と認めた場合の旅費については、前項の規定を準用する。

附 則

- (1) この内規は1995年4月1日より施行する。
- (2) 2016年6月11日一部改正、2016年6月11日から施行する。



相模女子大学 後援会 相模女子大学短期大学部

後援会会報 第53号

発行日／2021年9月21日 発行所／相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者／後援会事務局(大学事務部学事企画課)

住所／〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話／042-742-1433 FAX／042-813-5022